

APP 環境新聞

発行日 2021年2月24日

発行者 エイピーピー・ジャパン株式会社



APP は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



「森の再生プロジェクト」における固有樹種の育苗の様子

森の再生プロジェクト ~いっしょにSDGsに取り組もう!~



右：酒井一宏 アルマーク (株) 社長
左：日暮格 エイピーピー・ジャパン (株) 社長

<今年1月に2度目の寄付>

エイピーピー・ジャパン株式会社 (APP ジャパン) は、販売するコピー用紙の売上の一部をベランタラ基金に寄付して行うインドネシアの森林再生活動に2020年8月以来となる2度目の寄付を行いました。今回の寄付額は504,598円となりました。

「森の再生プロジェクト~いっしょにSDGsに取り組もう!~」は、APPの植林地や紙パルプ工場も近くにある、スマトラ島リアウ州中部において、ユネスコが人間と生物圏計画 (MAB 計画) に指定したギアム・シアク・ケチル=ブキット

・バツ (GSK-BB) 生物圏保護区の中で、荒廃してしまった森林を再生する活動です。

前回の寄付と同様に、期間中に対象商品をご購入いただき特に大きな貢献をしてくださった取引先様には当社より感謝状をお届けしています。その中の1社、アルマーク様は昨年からお取引が始まり、主に学校向けに納入されるコピー用紙としてご購入いただいておりますが、納入先の川崎市の小中学校にも今回の感謝状と「森の再生プロジェクト」について紹介したいとご支援の声を寄せていただきました。

2020年度から教育指導要領が順次改定され、「持続可能な社会の創り手の育成」がその前文に明記されることになり、子供たちも国連の提唱するSDGsについて学校で学ぶこととなります。その貴重な学習機会に「森の再生プロジェクト」に繋がる紙を使ってSDGsを勉強してくれることになったら、こんなに嬉しいことはありません。

印刷用紙が
PEFC
認証品化へ



APP ジャパンは、雑誌やチラシなどに使われるA2コート紙について、今年1月発注分から順次PEFC認証品化を進め、ほぼ全てのA2コート紙をPEFC認証品にします。

A2コート紙は、コピー用紙に次ぐAPPジャパンの主力商品です。国産品と比べて白さが際立っているのが特徴で、印刷映えするためエンドユーザーから銘柄指定の受注をすることもあります。

SDGsを始め、環境に対する意識がますます高まりつつある中で、印刷用紙でも世界最大の森林認証でもあるPEFC認証品をご用意できるようになります。



雑誌向け印刷用紙もPEFC認証に

いよいよAPPジャパンで扱っているほぼ全ての主力製品においてPEFC認証品のご用意ができる体制が整うことになり、広くご利用いただけますよう、認知向上と販売促進に社員一同、努めてまいります。

<コピー用紙の裏面新デザインを3月から順次発注開始>

当社の主力製品である「ホワイトコピー用紙A4」包装紙の裏面に「森の再生プロジェクト」を紹介する新デザインを導入します。

インドネシアとSDGsについて詳しく勉強している高校生や一般ユーザーのご意見を取材し、「この商品が森林再生活動に繋がっている分かりやすい説明があると良い」、「インドネシアの広大な森をバーチャル体感したい」などの声をできる限り反映した、最終デザインの完成となりました。

新デザインは、2021年3月から順次発注を開始する予定です。

ホワイト
コピー用紙



森の再生プロジェクト ~いっしょにSDGsに取り組もう!~
このプロジェクトは、日本から取組む国際貢献、環境保護のインドネシアプロジェクトです。環境保護のインドネシアプロジェクトです。環境保護のインドネシアプロジェクトです。

2014年に、環境メーカークラスの企業として設立した、インドネシア最大の森林再生活動を行う企業、環境保護のインドネシアプロジェクトです。環境保護のインドネシアプロジェクトです。

2014年に、環境メーカークラスの企業として設立した、インドネシア最大の森林再生活動を行う企業、環境保護のインドネシアプロジェクトです。環境保護のインドネシアプロジェクトです。

環境保護のインドネシアプロジェクト

環境保護のインドネシアプロジェクト

環境保護のインドネシアプロジェクト

包装紙裏面の新デザイン

SDGs 教育先進校に PEFC 認証ティッシュを寄贈

～WWL コンソーシアム構築支援事業参加校 5 校に～



PEFC 認証ティッシュを手にしなが学ぶ
筑波大学附属坂戸高校の皆さん

昨年12月、APP ジャパンは SDGs 教育で先をいく全国の高校に「PEFC 認証商品」を手にとって体験していただくこと、姉妹会社であるユニバーサル・ペーパーの PEFC 認証ティッシュをお届けしました。これは、昨年10月31日に行われた、「第9回高校生国際ESDシンポジウム・第2回 SDGs グローバル・エンゲージメント・カンファレンス」における、「エシカル



消費と SDGs」の分科会において発表者として APP ジャパンが参加したことがきっかけとなりました。

インドネシアでのフィールドワークにおいて、2015 年より APP の工場や植林地を視察している筑波大学附属坂戸高等学校を始め、愛媛大学附属高等学校、長野県上田高等学校など、5つの高校に寄贈をさせていただきました。

これらの高校は、文部科学省が推進している WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業に参画されている学校で、グローバルに活躍できる人財の育成のために SDGs 教育を含む先進的なプログラムを導入している高校です。エシカル消費教育や認証製品について学ぶ機会が多い生徒の皆さんに、実際の PEFC 認証商品を通じて、インドネシアと日本を結ぶ、これからのグローバルネットワークが連携する意義や方法についてご意見をいただき、国と世代を超えた繋がりの一翼を担うことができれば、と願っています。

経団連 生物多様性イニシアチブ(取り組み事例集)に APP の野生動物保護活動も掲載

昨年12月に発行された経団連の自然保護協議会がまとめた「生物多様性イニシアチブ」の英語版(同年6月に先行して日本語版発刊)に、インドネシアにおいて野生動物の調査・保護を行っている APP グループの取り組みが紹介されました。

APP ジャパンは、経団連自然保護協議会の加盟企業として積極的な取り組みをしています。



<https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/055.html>

エイビーピー・ジャパン株式会社
http://www.app-j.com/topics/attach/2019/07/1903_low-reso-FCP.pdf

《将来に向けた取組方針》
APPグループは、インドネシアにおいて広大な植林地を運営する傍ら、60万ha以上に及ぶ自然林を保護し、管理地域内におけるソウ・トラ・オランウータンの生息数と活動領域をマッピングして地域住民との衝突をなくして生物多様性の保護に貢献する。同時に、創設したベランタラ基金を通じて管理地域周辺の森林を保護し、地域住民を支援・教育することで、景観レベルの森林保全に貢献する。

《具体的取組事例》
野生動物の保護とその生息調査
現地調査と設置したカメラによって、APPとサプライヤーの管理地域における野生動物保護のための生息調査を進めています。

管理地域内における
人間と動物の
衝突ゼロの継続

ベランタラ基金と地域住民による野生動物保護の取り組み



スマトラ島に生息する
スマトラゾウの
約7%が生息



スマトラ島に生息する
スマトラゾウの
約10%が生息



タイダイ国立公園に生息する
ボルネオオランウータンの
約11%が生息



生物多様性イニシアチブにおける APP の取り組み紹介ページ

エコプロ Online2020 開催される

APP ジャパンは、ユニバーサル・ペーパーと共に新型コロナウイルスの影響で初のオンライン開催となったエコプロ Online2020(2020年11月25~28日)に出展しました。当社社員のオリジナルシナリオによるライブ配信動画などをYouTubeの当社アカウントに掲載しております。ぜひご視聴ください。



https://www.youtube.com/channel/UC_94lkXd6wRidL5nGVM-Kpw

駐日インドネシア大使館主催オンラインフォーラム “紙パルプ産業を通じた SDGs の達成へ”開催

2020年12月10日、駐日インドネシア大使館主催による紙製品オンラインフォーラムが開催されました。

インドネシア林業環境省、インドネシア紙パルプ協会、ベランタラ基金などによる講演があり、当社からも山崎が発表を行いました。両国の紙パルプ産業関係者を中心に、企業や NGO など 100 名以上が参加しました。

どの講演者も地域住民への生計支援について言及し、インドネシアでの森林保護を考える上で欠かせないことを印象づけました。



インドネシアの熱帯林保護のため、ご協力をお願いします/ベランタラ基金への寄付・協力の方法

- 1 APP ジャパンのコピー用紙を購入する→売上の一部がスマトラ島の森林再生事業に寄付されます
- 2 個人・法人等で寄付をお考えの方→APP ジャパンにご連絡ください(sustainability@appj.co.jp)